

“税を考える週間” 関連事業

税金〇×クイズ大会を開催

出雲法人会では、10月9日（日）出雲いりすの丘公園において開催された「斐川町商工まつり」〔主催：斐川町商工会（法人会支部事務局）〕のイベントのひとつとして「税金〇×クイズ大会」を実施しました。

当日は、クイズ大会に先立ち出雲税務署の片岡署長ほか職員が税を考える週間とマイナンバー制度についてのチラシ配布を行ったのち、〇×クイズを開催しました。



出雲税務署長 納税表彰式

出雲税務署主催の平成28年度納税表彰式が11月11日出雲地方合同庁舎で開催されました。当日は来賓多数出席のもと、片岡出雲税務署長から多年にわたり申告納税制度の普及と納税道義の向上に努められた皆様に、表彰状並びに感謝状が授与されたのち、来賓を代表して出雲市 伊藤副市長、出雲地区青色申告会 嘉儀会長が祝辞を述べられました。

（出雲法人会関係分：順不同）

出雲税務署長表彰

岡田明治様〔出雲法人会 理事：(有)メイジ 会長〕

“税を考える週間” 啓発事業を実施

“税を考える週間”に合わせ、ゆめタウン出雲、ショッピングセンターラピタ本店の「絵はがきコンクール」作品などを掲示した啓発コーナーを開設しました。作品には家族や買い物客が足を止め見入っていました。

また、14日（月）には、ラピタの展示会場内で中国税理士会出雲支部所属の税理士による「気がるな税金相談」が開催し、多くの相談者が訪れ、予定時間を延長して対応しました。

一方、同日の夕方から、JR 出雲市駅と市内の大型店に於いて、片岡出雲税務署長のほか税務署幹部職員、当会からは高橋会長をはじめ執行部、青年部会、女性部会の役員、事務局職員が租税教育用マンガ本や啓発グッズを、乗降客や来店客に配布し“税を考える週間”と“e-Tax の利用促進”をPRしました。



地域貢献活動「伊藤聡子氏講演会」、「磯田道史氏講演会」を開催

昨年から出雲市立中央図書館との共催事業で開催している文化講演会は、10月15日（土）出雲中央図書館において、NHK「英雄たちの選択」の司会や映画「殿、利息でござる！」「武士の家計簿」の原作者としてもおなじみの歴史

学者の磯田道史氏をお招きし「出雲で語る日本の歴史」と題し開催しました。当日は整理券を手にした約120名が、松江城を築城した堀尾吉晴の生涯を通して戦国時代から江戸時代の日本の歴史についてお話をいただきました。

また、公益法人としての社会貢献活動の一環として開催している地域貢献活動講演会は、11月21日(月)出雲ロイヤルホテルにおいて、TBS系「ひるおび!」水曜日コメンテーターでおなじみのフリーキャスターで事業創造大学院大学客員教授の伊藤聡子氏をお招きし「地域から日本を変える=これからの企業のあり方=」と題し、開催しました。当日は会員のほか一般市民約110名が、地方で業績を伸ばしている企業事例を基に、地域の活性化や発展に欠かすことのできない中小企業のこれからの方向性についてわかりやすくお話をいただきました。



平成29年度税制改正に関する提言を出雲市長に要望

11月25日(金)出雲市長に「平成29年度税制改正に関する提言」について要望しました。当日は、経済活性化と中小企業対策、地方のあり方などを中心に地域経済の現状や今後の出雲市の活性化などについて意見交換、要望などを行いました。



税に関する 小学生の「絵はがき」、 中学生の「習字」「作文」コンクールを実施

出雲法人会は、関係税務団体との共催により小学生の「絵はがきコンクール」、中学生の「習字・作文コンクール」を実施しました。

小学生の「絵はがきコンクール」には出雲市内の小学校30校1,388点の応募作品の審査を行い、出雲法人会会長賞など優秀作品の選考を行いました。

また、中学生の「習字コンクール」には6校99点、「作文コンクール」に9校459点の応募があり、それぞれ地区審査を経て優秀作品を県コンクールに推薦しました。今年度の「作文コンクール」の県審査会では、出雲地区からの推薦作品が県知事賞、県法連会長賞を受賞しました。